

報告徴収内容について

1. 現時点で稼働している原子力以外の再起動がないとした場合の需給バランス

(単位：万KW)		1月	2月
供給力 - 需要	2014年度 H1	399	433
	2015年度 H1 (定着節電、平温)	516	540
	2015年度 H1 (定着節電、2013年度厳寒並み)	236	270
予備率%	2014年度 H1	8.5%	9.3%
	2015年度 H1 (定着節電、平温)	11.3%	11.8%
	2015年度 H1 (定着節電、2013年度厳寒並み)	4.9%	5.6%
最大電力需要 H1	2014年度 H1	4,667	4,667
	2015年度 H1 (定着節電、平温)	4,560	4,560
	2015年度 H1 (定着節電、2013年度厳寒並み)	4,840	4,840
供給力	2014年度 H1	5,066	5,100
	2015年度 H1 (定着節電、平温)	5,076	5,100
	2015年度 H1 (定着節電、2013年度厳寒並み)	5,076	5,110
原子力		0	0
火力		4,056	4,096
水力		192	175
揚水	2014年度 H1	790	800
	2015年度 H1 (定着節電、平温)	800	800
	2015年度 H1 (定着節電、2013年度厳寒並み)	800	810
地熱・太陽光・風力		2.1	2.4
融通		0	0
新電力への供給等		26	26

四捨五入の関係で、合計が合わない場合がある

2. 需要面

2011 年度節電影響等

(単位 : 万 kW)

(発電端)		
2011 年度冬季最大電力需要 H3		4,889
2010 年度冬季最大電力需要 H3		5,077
差分		188
	気温影響	62
	節電影響	269
	経済影響	4
	離脱影響	15

2012 年度節電影響等

(単位 : 万 kW)

(発電端)		
2012 年度冬季最大電力需要 H3		4,696
2010 年度冬季最大電力需要 H3		5,077
差分		381
	気温影響	39
	節電影響	442
	経済影響	23
	離脱影響	1

2013 年度節電影響等

(単位 : 万 kW)

(発電端)		
2013 年度冬季最大電力需要 H3		4,670
2010 年度冬季最大電力需要 H3		5,077
差分		407
	気温影響	0
	節電影響	446
	経済影響	99
	離脱影響	60

2014 年度節電影響等

(単位 : 万 kW)

(発電端)		
2014 年度冬季最大需要想定 H3		4,603
2010 年度冬季最大電力需要 H3		5,077
差分		474
	気温影響	92
	節電影響	443
	経済影響	43
	離脱影響	166

2015 年度節電影響等

(単位 : 万 kW)

(発電端)		
2015 年度冬季最大需要想定 H3		4,477
2010 年度冬季最大電力需要 H3		5,077
差分		600
気温影響		8
節電影響		402
経済影響		71
離脱影響		277

冬季の気温感応度 (発生時気温) (万 kW /)

2011 年度実績	2012 年度実績	2013 年度実績	2014 年度実績	2015 年度想定
91	78	79	84	84

発生時気温や最高気温を採用している場合にはその旨を記載

気温関連データ

	気温
過去 10 年間の発生時気温の平均値	3.3
2013 年度厳寒の平均気温	0.5

発生時気温や最高気温を採用している場合にはその旨を記載

2010 及び 2013 年度が厳寒の場合はその旨を記載

3 . 供給面

発電所別供給力内訳表 (別添)